

埼玉県立鳩ヶ谷高等学校

クラス別講演会

第1学年1組園芸デザイン科講演会資料

自分の将来について考えを深めよう

— 社会に出る前の今、私たちが身に付けておくべきこと —

公益社団法人経済同友会

会員 林 明夫

日時：2016年10月13日(木曜日)

13：35～14：25

場所：埼玉県立鳩ヶ谷高等学校

お読みになりやすいように、QandA の形で資料を作成いたしました。参考になると思われるところには下線等を引き、後で読み返して自分のものとしてお役に立ててください。

Q 1 : 本日の講演会の目的は何ですか。

A : (1) 社会に出る前の今、高校生が身に着けておくべきことは何かについて、
(2) 経営者側の視点からのお話を聞いて頂き、
(3) 自分の将来について考えを深めるきっかけをつかんで頂くこと。

Q 2 : 林さんはどのような仕事や社会的活動をしていますか。

A : (1) 開倫塾 塾長

* 小学生・中学生・高校生を対象とし、群馬県・栃木県・茨城県に 60 校舎を展開する学習塾の経営者

(2) 学校法人 有朋学園 有朋高等学院、理事長(福島市)

(3) 宇都宮大学大学院工学研究科、客員教授(宇都宮市)

(4) 社会福祉法人 両崖福祉会 特別養護老人ホーム 清明苑、監事(足利市)

(5) マニー株式会社(精密機器、東証一部 顧問、社外取締役(2004 ~ 2010)

本社 : 宇都宮市

現地法人 : ハノイ()、ヤンゴン()、ビエンチャン()

(6) 公益社団法人 経済同友会(東京) 幹事、サービス産業活性化委員会 副委員長
子どもの貧困・機会格差問題部会 委員

(7) 開倫ユネスコ協会 会長

(8) CRT ラジオ栃木放送「林明夫の歩きながら考える」毎週土曜朝 9:15 ~ 25 担当、30 年目
* 開倫塾は 37 年前に自分で創業、設立しました。開倫ユネスコ協会は 15 年前に開倫塾の社員の皆様とともに設立、日本ユネスコ協会連盟から認証をいただきました。

* それ以外の仕事や活動はすべて依頼されてお引き受けし、各々の組織の社会的使命の達成のために活動しています。

Q 3 : 好きなことばは何ですか。

A : (1) 「練習で泣いて、試合で笑え」

* 足利市立山辺中学校柔道部監督 椎名弘先生のことば

(2) 「ブルドッグ魂(だまし)ー食いついたら離すな」

* 足利市立山辺中学校中 3 クラス担任 岡田忠治先生(安中出身)のことば

(3) 「一所懸命、一つの所で命を懸(か)けるくらい熱心に取り組もう」

* 栃木県立足利高等学校マラソン大会の合いことば

(4) 「法律を学ぶ者(法学徒)は常に最悪の事態を予想して行動すること」

＊慶應義塾大学法学部法律学科2年の法思想史のゼミの担当 峯村光郎先生のことば

(5) 「スポーツの3つの宝とは」

①練習は不可能を可能にする

②フェア・プレー ＊ルールの中でプレーする、いやしいプレーをしない

③よき友

＊慶應義塾 塾長 小泉信三先生のことば

(6) 「教育ある人とは(一生)勉強し続けている人」

＊経営学の大家 ドラッカー先生のことば

(7) 「一生勉強、一生青春」

＊足利市の書家 相田みつを先生のことば



Q4 : そろそろ本題に入りましょう。ズバリ、仕事とは何だとお考えですか。

A : 仕事とは

(1) 「お客様のお役に立つこと」

(2) 「お客様のお役に立つこと」で「社会のお役に立つこと」だと考えます。

Q5 : 「お客様のお役に立つ」とは何ですか。

A : お客様のお役に立つとは「お客様の問題を解決すること」、つまり、仕事を通してお客様に「製品やサービスを提供すること」で、お客様の問題を解決することだと考えます。



Q6 : 「社会のお役に立つ」とはどういうことですか。

A : (1) 同じような問題を抱えているお客様は、世の中にたくさんいると考えられます。

(2) そこで、お客様の問題を解決することは、社会の問題を解決することにもなりますので、社会のお役に立つことともいえます。

Q7 : 「働くこと」つまり「仕事をする事」の楽しさとは何ですか。

A : (1) お客様のお役に立つことと、社会のお役に立つことです。

(2) 具体的には、お客様の問題解決のお役に立ったこと、お客様のお役に立つことで、社会のお役に立ったことが仕事をする上での、楽しさ、喜びです。



Q 8 : 「働くこと」つまり「仕事をする事」の厳しさとは何ですか。

A : (1) ①お客様の数が増えないこと、逆に減ってしまうこと

②売り上げが増えないこと、逆に減ってしまうこと

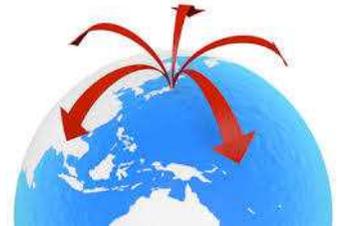
③お客様の数や売り上げが増えない、逆に減っているのに、経費が減らないこと、逆に増えてしまい、仕事が立ち行かなくなる事

(2) ①どのような仕事にも競争相手がいます。

②たとえ、今はいなくても、競争相手はどんどん出てきます。

③日本だけでなく、世界中に競争相手がいます。

④国内外の競争相手との激しい競争が働くこと、仕事をする事との厳しさといえます。



(3) どのような競争があるか。

①製品やサービスの内容

* どちらの製品やサービスがよりお客様の問題解決に役に立つか。

②価格

* どちらがお手頃か、買いやすいか。ただし、いくら安くても、お役に立たないものはダメ。

③便利さ

* どちらが使いやすいか、便利な場所にあるか。

④コミュニケーション

* わかりやすい広告宣伝、お客様とのコミュニケーションとなるような広告宣伝になっているか。ただし、あまりお金をかけすぎると価格が高くなり、買ってもらえなくなります。

Q 9 : 仕事をするときに大切なことは何ですか。

A : (1) 「自己責任」

* 自分のしたことには自分で責任をとる。

(2) 「自助努力」

* 自分の身は自分で助ける。

(3) 「チーム・プレー」

* 自分のポジションは自分で守り切る。

* チームのメンバーの期待に応える。

* チームのメンバーを信頼する。

(4) 「あきらめたらおしまい」「ネバー・ギブアップ」

(5) メモを取り続ける。



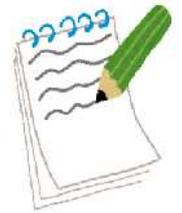
* 仕事に教科書はない。

* 自分以外は皆師(先生)。

* 必要なことはすべてメモをし、メモを繰り返し読み続け、メモに書いてあることを理解し、身につけ(定着)させ、仕事に生かす。

(6)よくできない仕事は「練習、練習、また、練習」を行う。

* 「練習は不可能を可能にする」の小泉先生のことばは仕事にもぴったりあてはまる。



Q10：社会に出る前の今、高校生が身に着けておくべきことは何ですか。

A：(1)中学校・高校時代に学校で学習したすべての教科の内容を正確に「理解」していること、正確に「身に着けている」(「定着」している)こと、企業や社会で生かせることが第一です。

①現在、高校で学習しているすべての教科は、企業や社会で、また、豊かな一生を送る上ですべて役に立ちます。役に立たない教科は一つもありません。

②一教科でも多く授業の予習を行い、何がわからないかをはっきりさせてから授業に臨むこと。

(2)「予習の仕方を身に着けること」は企業や社会で最も必要とされる能力です。

(3)よくわからない「語句」があったら、気持ちが悪いと思い、辞書や参考書などで調べ、調べたことは必ずメモをしておくこと。

①そのメモを何回も読み、正確に「理解」し、身に着ける(定着させる)ことで、「ことばの数」(語彙の数)が増えます。

②「ことばは力」「身に着けていることばの数の多さ」は、企業や社会で大きな「力」となります。

(4)「英語検定」や「漢字検定」、「数学検定」などの「検定試験」の合格に向けての学習は、企業や社会でもとても役に立ちます。どんどん挑戦を！

(5)学校の授業はしっかり受け、必要なことはすべてノートにメモし続けること。学校に在籍している間に教科書と授業ノートのすべての内容を正確に「理解」し、身に着けること。

(6)わからないことは、図書館などでまずは自分でよく調べる。どうしてもわからなければ、先生に質問する。図書館の活用方法も高校時代に身に着けてください。

(7)企業や社会に出ても多くのことを学びます。授業の受け方、特にノートの取り方、整理の仕方、ノートを使っての学習の仕方を身に着けてください。

①授業中のノートは、授業後に「別のノートにきれいに書き写すこと、清書すること」をお勧めします。

②仕事には教科書がありません。自分以外は、皆師(先生)と考えましょう。上司や同僚、お



お客様から教えていただいたこと、打ち合わせの内容をメモし続けてください。「仕事はメモで身に着ける」といわれます。仕事の上でメモを取り続け、それを身に着けることが大切です。一番よいのは、仕事のメモを、毎日別のノートに清書・書き写し、必要なことを書き加えること。そのノートを1ページ目から繰り返し読み直すことです。ノートが取れること、メモが取れることは大切な能力です。

(8) 企業や社会に出てからも、新しいことを学び、「理解」し、「定着」させ、テストを受けて合格点を取らなければなりません。それらを仕事に生かすことが求められます。

(9) そこで、「定期テストの勉強の仕方」も企業や社会で役に立ちます。

① 教科書や問題集、ノートをすべて正確に「理解」し、スミからスミまで身に着ける(定着させる)ことが大切です。

② そこで役に立つのが、一度「理解」した内容について身に着けるための、「定着のための三大練習」です。

(ア) 「音読練習」(スラスラと読めるようになるまで声を出して読む)

(イ) 「書き取り練習」(書き順も含め正確に書けるまでにする)

(ウ) 「計算・問題練習」(計算や問題を見たらパッパッと正解が出るようにする)

—ここでも「練習は不可能を可能にする」があてはまります—

(10) 「5S」(ごえす)…高校時代に「5S」を身に着けましょう。身近なところから、かばんの中、机の中、机の上、タンスの中、ロッカーの中などを、自分で

- ① 「整理」 seiri 不要なものを捨てる
- ② 「清掃」 seisou きれいに掃除(そうじ)する
- ③ 「整頓」 seiton ものはいつも同じところに置く
- ④ 「清潔」 seiketsu いつも①～③を保つ
- ⑤ 「躰」 shitsuke 自分から進んで行く



(11) 別の意味での「躰」(しつけ)も大事

① 「美しい立居振舞い(たちいふるまい)」

* 服装も大事

* 靴(くつ)は手でそろえる

* 自分で使った机や椅子はきれいにそろえる

* 大きな声で元気にあいさつする

② 「敬語表現を含む言葉遣い(ことばづかい)」

* 「です・ます調」で話せること



(12) 「読書による思慮深さ(しりょぶかさ)」を身に着けること

① 「古典」と呼ばれる本(各教科の教科書で紹介されている本)をじっくりと読むこと

② 「書き抜き読書ノート」に大切な文章を書き抜くこと

(13)「新聞を読み、自分で考える力と批判的思考能力」を身に着けること

①新聞は毎日読み、社会の動きを知る。

*家で新聞をとっていなければ、図書館で新聞を毎日読む。

②関心のある記事を切り抜き、「スクラップブック」に貼り付ける。

(14)「英語によるコミュニケーション」と「パソコン」

①英検は3級以上を目指す。

②「ワード」「エクセル」は「初級」レベルまで身に着ける。できれば「中級」レベルまで高校時代に身に着ける。

*パソコンに数学と英語は大事。統計・確率は特に大切

(15)部活動と試験勉強で「体力」と「気力」、ものごとを「最後までやり抜く力」を身に着けよう。



Q11：最後に一言どうぞ。

A：(1)高校時代の友人は一生の友人です。高校時代の先生は恩師、一生の先生です。皆様との友情を、一生かけて大切に育んでください。卒業してからも母校である鳩ヶ谷高等学校のことを折に触れて思い出してください。

(2)高校時代の勉強は一生役に立ちます。教科書や参考書、辞書、授業ノートなどは絶対に処分しないこと。折に触れて勉強し直してください。すべては高校の勉強の上に成り立っているからです。

(3)高校時代に行った文化活動やスポーツは、できれば、一生続けると、仕事の上でも社会的活動をする上でも、また、個人としても豊かな人生が歩めます。

(4)川口市や埼玉県、日本やアジアの「文化」や「伝統」、「歴史」の十分な「理解」があって初めて、他の国や地域の人々のことも「理解」できます。世界各地のことを知ると同時に、日本のこともよく知ること、日本人とは何かをよくお考えください。

(5)「健康第一」、心の健康・身体の健康を大切に。

ご清聴を感謝いたします。

感謝

